



みんながつながり 夢を育てる学校に

国立二小だより

平成31年3月22日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

3つの目標 「チャレンジ」 「声かけ」 「感謝」

校長 小林 理人

一年間を締めくくる3月は、身に付けた力を生かして主体的に活動したり、成長したことへの喜びや感謝の気持ちを堂々と発表したりする場面がたくさんありました。その中でも、代表委員会の子供たちが中心となり行われた6年生を送る会は、1年間の成長と次年度の目標をみんなで確かめ合った感動的な行事になりました。

6年生を送る会は、リーダーとして学校づくりを進めてきた6年生に感謝の気持ちを伝えたり、新しい学年に向けての決意を新たにしたりすることを目的としています。1年生から5年生は6年生への感謝の気持ちを一生懸命練習した歌や寸劇、言葉などで伝えました。そして、6年生はその気持ちに応えて、運動会で応援団がダンス曲として使った「USA」の合奏を披露しました。在校生の心の込もった演技をうれしそうな笑顔で見つめたり、在校生からのアンコールに応え、誇らしげに演奏したりする6年生の姿が印象的な会になりました。演奏の前に、6年生の代表委員から在校生に向けて言葉が贈られました。自分たちの思いをバトンに込めて手渡す演出には皆が驚き、歓声が上がりました。そして、そのバトンに書かれた言葉を、代表の児童が次のように説明をしました。



このバトンには二小で大切にしてほしいことが3つ書かれています。

1つ目は「**新しいことにチャレンジ**」です。今までやったことがなかったことや、新しいことにチャレンジする勇気を出して手を伸ばしていきましょう。

2つ目は「**明るい声かけ**」です。

何かを頑張っている人、元気のない人に明るく声をかけ、背中を押してあげましょう。

もう一つは「**周りの人への感謝**」です。今まで支えてくれた人や、声をかけてくれた人に、ありがとうの気持ちを伝えましょう。これからの二小がより明るく優しくなるために必要なことです。目標にして頑張ってください。

3月の学校生活で味わった成長の喜びと感謝の気持ち、そして、新しい学年への希望を4月からの学校生活につなげ、子供たち、教職員の心をひとつにして「**新しいことにチャレンジ**」「**明るい声かけ**」「**周りの人への感謝**」の3つの言葉を目標に、明るく優しい学校をめざします。

一年間、子供たち、そして国立二小を支え励ましてくださった皆様に心から感謝いたします。

皆勤賞 おめでとうございます。

インフルエンザが流行し、体調管理が難しい3学期でしたが、239人の児童が皆勤でした。

その中で140人は1年間を通して一日も学校を休まずに登校した年間皆勤でした。

すばらしい!